



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所 東  
 コード番号 5702 URL <https://www.dik-net.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山本 隆章  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 黒須 弘人 (TEL) 06-6444-2751  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	144,263	40.3	10,770	8.0	10,928	9.4	7,292	1.4
2022年3月期第2四半期	102,838	77.8	9,973	292.2	9,990	345.8	7,193	336.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11,675百万円(47.0%) 2022年3月期第2四半期 7,940百万円(701.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	180.04	177.32
2022年3月期第2四半期	177.61	174.90

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	144,313	68,701	46.9
2022年3月期	141,616	58,505	40.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 67,631百万円 2022年3月期 57,578百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年3月期	—	30.00			
2023年3月期(予想)			—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	281,800	19.4	14,650	△28.1	14,720	△28.8	10,240	△31.2	252.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	43,629,235株	2022年3月期	43,629,235株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,117,454株	2022年3月期	3,127,266株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	40,507,639株	2022年3月期2Q	40,502,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本四半期決算短信 (添付資料) P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

1. 2023年3月期第2四半期の個別業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	80,893	28.0	3,631	29.5	4,380	29.2	3,127	28.6
2022年3月期第2四半期	63,198	69.5	2,804	720.9	3,389	393.4	2,431	411.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	77.21		76.04	
2022年3月期第2四半期	60.03		59.11	

2. 2023年3月期の個別業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,900	16.8	5,910	11.0	8,620	△6.1	6,590	△7.8	162.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大や、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格及び原油価格の高騰などにより、諸物価上昇による消費の冷え込みが懸念されるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境のもと、大手需要先である自動車メーカー関連各社は、世界的な半導体不足の長期化や部品の調達難が継続しており、生産計画の見直しにより減少しました。

しかし、当社グループにおいては、販売数量が伸び悩んだ中で、原材料購入単価の適正化への努力をするとともに、製品の適正な在庫管理を徹底して取り組んでまいりました。また同時にカーボンニュートラルのトレンドの下、水平リサイクルのニーズが伸びたことと、圧延向けのRSIが好調に推移しました。

この結果、当社グループの第2四半期連結売上高につきましては、前年同期に比して平均販売価格も上昇したことにより、アルミニウム二次合金地金972億1千2百万円（前年同期比41.9%増）、商品・原料他470億5千万円（前年同期比37.1%増）で、これらを併せた売上高総額は1,442億6千3百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

収益面につきましては、製品価格と原料価格の価格差（スプレッド）が順調に推移した結果、経常損益につきましては、109億2千8百万円（前年同期比9.4%増）の利益となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は72億9千2百万円（前年同期比1.4%増）の利益を計上することとなりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億5千9百万円増加し1,142億6千万円となりました。これは主に現金及び預金が34億4千9百万円、商品及び製品が2億3千9百万円それぞれ増加したことと、原材料及び貯蔵品が22億4千1百万円、その他が7億8千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### ② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ19億3千8百万円増加し300億5千3百万円となりました。これは主に有形固定資産が20億4千4百万円増加したことと、投資有価証券が3千7百万円、繰延税金資産が3千7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### ③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ70億6千万円減少し652億1千万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が7億5千1百万円、短期借入金が49億4百万円、未払法人税等が8億5千万円、未払費用が3億7千8百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### ④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億3千7百万円減少し104億2百万円となりました。これは主に繰延税金負債が7億8千3百万円増加したことと、長期借入金が12億5千5百万円減少したことによるものであります。

#### ⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ101億9千5百万円増加し687億1百万円となりました。これは主に利益剰余金が58億7千5百万円、為替換算調整勘定が40億7千3百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては2022年10月31日に「業績予想の修正及び配当予想の修正（創業100周年記念配当）に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,862	8,312
受取手形及び売掛金	58,091	58,153
商品及び製品	20,845	21,085
仕掛品	145	181
原材料及び貯蔵品	25,039	22,797
その他	4,519	3,733
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	113,500	114,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,635	18,663
減価償却累計額	△8,969	△9,434
建物及び構築物(純額)	8,665	9,229
機械装置及び運搬具	31,308	33,371
減価償却累計額	△22,820	△24,337
機械装置及び運搬具(純額)	8,488	9,033
工具、器具及び備品	1,723	1,940
減価償却累計額	△1,360	△1,496
工具、器具及び備品(純額)	362	444
土地	3,893	3,969
リース資産	1,287	1,921
減価償却累計額	△339	△302
リース資産(純額)	947	1,619
建設仮勘定	258	363
有形固定資産合計	22,615	24,659
無形固定資産	115	123
投資その他の資産		
投資有価証券	3,832	3,794
長期貸付金	3	2
退職給付に係る資産	656	654
繰延税金資産	348	311
その他	805	800
貸倒引当金	△262	△292
投資その他の資産合計	5,384	5,270
固定資産合計	28,115	30,053
資産合計	141,616	144,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,858	13,107
短期借入金	50,172	45,267
未払金	1,642	1,543
未払法人税等	2,746	1,896
未払消費税等	221	573
未払費用	1,973	1,595
賞与引当金	447	487
その他	1,209	739
流動負債合計	72,271	65,210
固定負債		
長期借入金	8,531	7,276
役員退職慰労引当金	12	9
退職給付に係る負債	247	287
リース債務	75	74
資産除去債務	244	246
繰延税金負債	1,576	2,360
その他	150	148
固定負債合計	10,839	10,402
負債合計	83,110	75,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,346	6,346
資本剰余金	8,843	8,841
利益剰余金	41,677	47,552
自己株式	△1,341	△1,337
株主資本合計	55,526	61,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,206
繰延ヘッジ損益	△99	61
為替換算調整勘定	661	4,735
退職給付に係る調整累計額	256	224
その他の包括利益累計額合計	2,052	6,227
新株予約権	145	142
非支配株主持分	781	927
純資産合計	58,505	68,701
負債純資産合計	141,616	144,313

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	102,838	144,263
売上原価	88,803	128,796
売上総利益	14,034	15,466
販売費及び一般管理費		
運搬費	2,062	2,310
貸倒引当金繰入額	10	—
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
賞与引当金繰入額	75	117
その他	1,911	2,268
販売費及び一般管理費合計	4,060	4,696
営業利益	9,973	10,770
営業外収益		
受取利息	17	33
受取配当金	137	178
為替差益	24	156
技術指導料	11	11
鉄屑売却益	65	78
その他	84	135
営業外収益合計	341	592
営業外費用		
支払利息	271	409
その他	53	25
営業外費用合計	324	435
経常利益	9,990	10,928
特別利益		
固定資産売却益	8	10
特別利益合計	8	10
特別損失		
固定資産除売却損	43	43
特別損失合計	43	43
税金等調整前四半期純利益	9,955	10,895
法人税、住民税及び事業税	2,506	2,758
法人税等調整額	159	746
法人税等合計	2,666	3,505
四半期純利益	7,289	7,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	95	97
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,193	7,292

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	7,289	7,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△27
繰延ヘッジ損益	△54	160
為替換算調整勘定	703	4,182
退職給付に係る調整額	△29	△31
その他の包括利益合計	651	4,285
四半期包括利益	7,940	11,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,815	11,468
非支配株主に係る四半期包括利益	125	206

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,955	10,895
減価償却費	1,541	1,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	19
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△39	△43
受取利息及び受取配当金	△155	△211
支払利息	271	409
為替差損益 (△は益)	43	49
固定資産除売却損益 (△は益)	35	33
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,854	3,554
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,409	5,583
前渡金の増減額 (△は増加)	350	53
未収入金の増減額 (△は増加)	△178	792
仕入債務の増減額 (△は減少)	△474	△2,270
未払金の増減額 (△は減少)	232	△250
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12	339
その他	△15	△274
小計	△5,663	20,385
利息及び配当金の受取額	155	211
利息の支払額	△264	△402
法人税等の支払額	△1,762	△3,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,535	16,609
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の売却による収入	14	11
有形固定資産の取得による支出	△1,418	△2,395
その他	△15	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,419	△2,403
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,255	△7,605
長期借入れによる収入	2,400	300
長期借入金の返済による支出	△2,271	△2,088
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△729	△1,417
非支配株主への配当金の支払額	△15	△61
その他	△36	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,602	△10,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△265	3,433
現金及び現金同等物の期首残高	5,702	4,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,437	8,213

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。